

# 南浜地区・中瀬地区 みらいの公園づくりワークショップ の記録



平成25年3月  
石巻市

## はじめに

本市では、石巻市震災復興基本計画において、旧北上川河口には、震災復興のシンボルとなる公園を整備し、中瀬地区は石ノ森萬画館を核として公園整備と有効活用を促進し、中心市街地の活性化を推進することとしています。

この地区には、それぞれ南浜公園、中瀬公園の整備を検討しておりますが、将来、整備や管理・運営時に、多くの市民の方々が関わり、復興へ向けた場となることを期待しております。そのため、市民の声を聞きながら、公園づくりができる仕組みが必要となります。また、南浜公園の計画地では、部分的に国営の祈念公園として整備される可能性が出てきており、市として、公園を整備するにあたり考え方を整理する必要がでて参りました。

このような経緯を受けて、市民の皆さんの公園への想いを聞くため、公園づくりワークショップを開催することとしました。ワークショップは、平成24年12月からスタートし、平成25年2月までに、小中学生を対象とした「子どもワークショップ」を2回、高校生以上を対象とした「一般ワークショップ」を3回開催しました。

ワークショップの概要は以下のとおりです。

これらの経緯や参加者の想い、意見を取りまとめたものが本記録です。想いや意見をとりまとめたほか、公園づくりでポイントとなることの発見や、今後、公園に関わる人たちのつながりができた等の結果も得ることができました。

今後も公園の計画策定にあたり、市民の皆さんの声を聞かせていただく予定ですので、その際は公園づくりへのご協力をお願いいたします。

石巻市

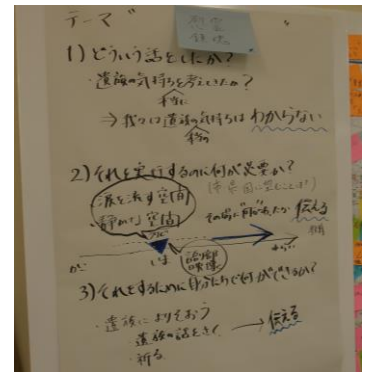
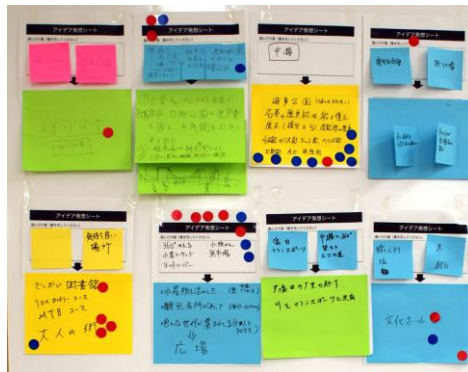
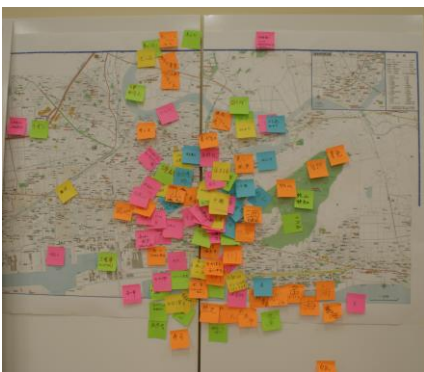
### ワークショップの概要

|            |     | 目的・ねらい   | 結果  |
|------------|-----|--|---|
| 子どもワークショップ | 第1回 | <ul style="list-style-type: none"> <li>公園のアイデアを膨らます</li> <li>子どもたちの創造性を引き出す</li> <li>普段の勉強とは違った経験を体験する</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>公園のアイデアを参加者各自で発案した</li> </ul>  |
|            | 第2回 | <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;午前&gt;公園アイデアの発表練習</li> <li>&lt;午後&gt;公開で市やメディアに発表し、広く市民に公園づくりのアイデアを発表する</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>公園のアイデアを取りまとめた「宣言書」を公開発表し、市へ提出した</li> </ul>  |
| 一般ワークショップ  | 第1回 | <ul style="list-style-type: none"> <li>市民・関係者が公園づくりを主体的に発想するための「チーム」をつくる</li> <li>公共性の高いアイデアを発想し、公園の計画策定のヒントを集める</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>参加者同士で話し合い、第2回以降に自由に議論できる土壌を育んだ</li> <li>様々なアイデアを発案した</li> </ul>   |
|            | 第2回 | <ul style="list-style-type: none"> <li>現状ある計画を共有する。市民・NPOのみなさんの考えや活動を互いに認識する</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>参加者が6つのテーマ「慰霊・鎮魂」、「防災・減災」、「歴史・文化」、「自然」、「レジャー」、「10年後、20年後の公園の位置づけ」を発案し議論した</li> </ul>                               |
|            | 第3回 | <ul style="list-style-type: none"> <li>公園において市民・NPOの皆さんが既に行っている活動を互いに認識する</li> <li>今後の公園づくりの中で、行っていききたい活動を話し合う</li> </ul> <p>南浜⇒国や県に、地元の要望をあげていく<br/>中瀬⇒市民と市で、ともに公園をつくっていく準備を整える</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>南浜：「慰霊・鎮魂」等について多く議論した</li> <li>中瀬：レクリエーション利用を中心に管理運営等について多く議論した</li> <li>今後、参加者自身が公園づくりに関わることについて「宣言」した</li> </ul> |

※詳細は、p7以降の「8.ワークショップの内容」を参照

# 目次

|                          |    |
|--------------------------|----|
| 1. ワークショップの経緯と目的         | 1  |
| 2. ワークショップの対象公園          | 1  |
| 3. ワークショップの主催            | 1  |
| 4. ワークショップの参加者           | 2  |
| 5. ワークショップの流れ            | 4  |
| 6. ワークショップ開催に当たっての市長コメント | 5  |
| 7. ワークショップの前提            | 5  |
| 8. ワークショップの内容            | 7  |
| ○子どもワークショップ              |    |
| (1) 第1回ワークショップ           | 7  |
| (2) 第2回ワークショップ           | 9  |
| ○一般ワークショップ               |    |
| (3) 第1回ワークショップ           | 14 |
| (4) 第2回ワークショップ           | 16 |
| (5) 第3回ワークショップ【南浜公園】     | 18 |
| (6) 第3回ワークショップ【中瀬公園】     | 20 |
| 9. ワークショップの結果概要          | 22 |
| 10. 今後の進め方への課題           | 23 |



## 1. ワークショップの経緯と目的

### (1) ワークショップの経緯

- ・南浜公園は、大震災の記憶を留め、失われたすべての命を追悼する、鎮魂の杜として整備することとし、国営公園として指定をいただけるよう、宮城県と共に国へ要望しているところです。
- ・中瀬地区は、石巻の歴史や文化を語るうえで欠かせない象徴的な存在であり、これらを伝承する場を公園として再生し、かつ萬画館を活かした街の拠点の一つとして整備を目指しています。
- ・両公園とも、現在は基本計画の策定準備を進めており、今後、市民の皆様のご意見を聞きながら、事業化に向けて様々な調整を行っていく必要があります。

### (2) ワークショップの目的

- ・ワークショップは2部門に分け、それぞれ以下のような主旨で運営しました。

#### 【子どもワークショップ】

○公園への期待や未来への希望について、将来の担い手である子ども達の意見を聞く。

○子ども達がアイデアを形にし、発表することで創意を育むとともに、市報や新聞などのメディアを通じて発信し広報する。

#### 【一般ワークショップ】

○今回のワークショップを通じ、震災復興に向け、公園づくりについて市民の様々な想いを聞き取り、両公園の整備計画やその後の管理運営の検討の一助とする。

○南浜公園は、国営祈念公園に関わる内容は、今後検討が始まる、国・県に伝える（国や県に、地元の要望としてあげていく）。

○中瀬公園は、新しい公園のつくり方と運営を考えるための起点とする（市民と市で、ともに公園をつくっていく準備）。

- ・今回のワークショップは、意見をまとめ切るのではなく、様々な意見をいただくことが大切であり、今後もこのような場を設け、市民の皆様との意見交換が継続していくよう考えます。そして、復興事業の中で公園だけは、じっくり時間をかけてつくっていくものとします。

## 2. ワークショップの対象公園

南浜公園、中瀬公園

## 3. ワークショップの主催

主催：石巻市

事務局：石巻市 震災復興部 基盤整備課

## 4. ワークショップの参加者

### (1) 子どもワークショップ

子どもワークショップは、南浜・中瀬公園周辺の小中学校の児童・生徒を募集しました。

- 1) 募集方法：南浜・中瀬公園周辺の小中学校とNPOの協力を得て募集
- 2) 募集対象：小学校5、6年生、中学校1、2年生を対象

### (2) 一般ワークショップ

一般ワークショップは、次のとおり参加者を決定しました。

- 1) 地域において活動する団体（NPOなど）に属する方
- 2) 地元町内会代表者
- 3) 学識経験を有する方
- 4) 公募市民（13名）

公募は、市役所のホームページ、および新聞広告による公募を行った結果、13名の方から応募があり、選考の結果全員を参加者として決定しました。

#### ◇一般公募方法の概要

趣 旨：公園づくりを進めるにあたり、市民の思いを計画づくりに反映させることを目的に、次の方法によりワークショップへの参加者を公募しました。

①募集期間：平成24年11月15日～平成24年11月30日

②募集人数：10名程度

③応募資格：15歳以上（中学生は除く）で、3回のワークショップに参加できる方。また、県、市等の議員又は常勤の公務員以外の方で、本市の審議会等の委員でない方。

④選考方法：「復興に向けた新しい公園のあり方」をテーマとした400字程度の作文等の提出資料を基に選考

⑤募集広告

- ・市ホームページ
- ・新聞広告：平成24年11月15、16、17、18日の4回実施（2社で各2回ずつ）

### (3) 参加者

ワークショップの参加者は、以下のとおりとなりました。

| 子どもワークショップ (30名)  | 一般ワークショップ (36名)  |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・南浜・中瀬公園周辺の小中学校の児童・生徒</li> <li>門脇小学校 1名</li> <li>湊小学校 2名</li> <li>開北小学校 2名</li> <li>石巻小学校 1名</li> <li>住吉小学校 1名</li> <li>万石浦小学校 1名</li> <li>門脇中学校 14名</li> <li>湊中学校 2名</li> <li>石巻中学校 3名</li> <li>住吉中学校 2名</li> <li>山下中学校 1名</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域において活動する団体（NPO など）に属する方※1 17名</li> <li>・地元町内会代表者 2名</li> <li>・学識経験者 4名（オブザーバー） <ul style="list-style-type: none"> <li>森山雅幸（宮城大学教授）※2</li> <li>平野勝也（東北大学准教授）※3</li> <li>姥浦道生（東北大学准教授）※3</li> <li>斎藤善之（東北学院大学教授）※4</li> </ul> </li> <li>・公募市民 13名</li> </ul> |

※1 石巻に在するまちづくりやスポーツ関係の NPO や活動団体。（みらいの公園づくりを進めるうえで、意見や助言を伺う必要があると市が判断した団体等）

①NPO法人いしのまき環境ネット（「いしのまきから元気な地球をこどもたちへ」植樹活動、微生物利用による衛生向上、環境教育活動）

②NPO法人石巻市体育協会（地域・住民の体づくり、スポーツの普及向上や健康づくりに関する事業の推進）

③石巻商工会議所青年部（各種研修会、イベント事業、若手経済人のネットワーク形成）

④特定非営利活動法人石巻スポーツ振興サポートセンター（スポーツを楽しめる街づくりを目指した活動）

⑤石巻千石船の会（「石巻川開きパレード」・「石巻北上川フェア」等まちづくり活動）

⑥一般社団法人 ISHINOMAKI 2.0（石巻を震災前の状況に戻すのではなくバージョンアップさせる活動）

⑦特定非営利活動法人石巻復興支援ネットワーク（より良い石巻の復興に向けて主体的に活動する市民の育成とサポート）

⑧石巻を考える女性の会（石巻を明るく、楽しい、やさしい、住みよいまちにする女性の活動）

⑨国道 45 号撮影班 PR45（震災被害の記録撮影とロケーションの創出活動）

⑩特定非営利活動法人ジェン（被災地でのコミュニティ支援事業、生業支援事業、交流事業の実施）

⑪公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン（復興に向けたまちづくりに対する子ども参加の促進活動）

⑫NPO法人にじろクレヨン（石巻市を拠点に被災した子供たちのための活動）

⑬母なる北上川を愛する女性の会（「川辺のコンサート」の開催、北上川関連の懇談会活動）

⑭ピースボートセンターいしのまき（ボランティア活動、仮設きずな新聞 5,500 部の発行）

⑮特定非営利活動法人ひたかみ水の里（子どもや教員などを対象にした自然体験活動（研修））

⑯NPO法人ベビースマイル石巻（妊婦～未就園児親子の交流、地域子育てネットワーク構築、子育て世代の社会参加）

⑰株式会社街づくりまんぼう（「町おこし」「産業振興」「人材育成」等石巻市全体の活性化に向けた活動）

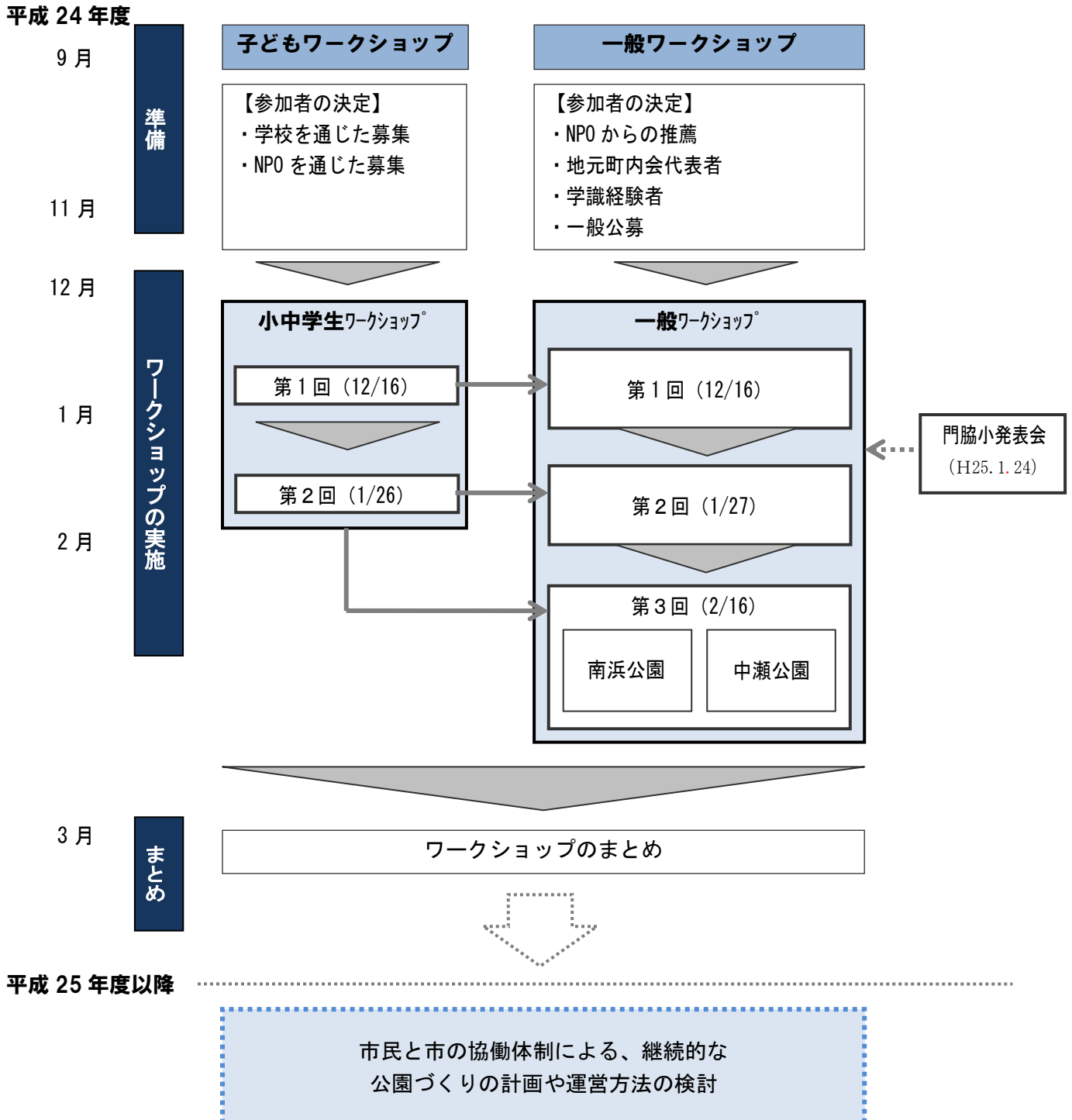
※2 震災復興祈念公園基本構想検討会（国土交通省都市局）構成メンバー

※3 石巻復興まちづくり検討会議（石巻市震災復興部）アドバイザー

※4 いしのまき水辺の緑のプロムナード計画懇談会（石巻市建設部）委員

## 5. ワークショップの流れ

みらいの公園づくりワークショップは、以下のスケジュールで実施しました。



## 6. ワークショップ開催に当たっての市長コメント（抜粋）

南浜公園は、大震災の記憶を留め、亡くなられた方々を追悼する、鎮魂の杜として整備することとし、国営公園として指定をいただけるよう、宮城県と共に国へ要望しているところであります。

また、中瀬地区については、石巻の歴史や文化を語るうえで欠かせない象徴的な存在であり、これらを伝承する場として再生し、かつ今年再開する萬画館を活かした街の拠点の1つとして整備を目指しております。

両公園とも、現在は基本計画の策定準備を進めており、市民の皆様のご意見を、整備やその後の管理運営に反映するためのワークショップを開催いたします。

ワークショップは2部門に分け、1つは将来の担い手となる子供達の意見を取り込むことを目的とし、小中学生を対象として開催する予定です。もう1つは、整備内容の検討に加え、新しい公園の管理運営手法について検討し、地域の皆様と市の協働による管理についても模索したいと考えており、NPOなど市民活動団体や、一般公募による市民の皆様を対象としてお集まりいただき、開催する予定です。

平成 24 年 11 月 6 日

## 7. ワークショップの前提

### (1) 南浜公園・中瀬公園の位置

南浜公園と中瀬公園の計画地は、旧北上川下流から河口部にかけて位置している。

※公園の位置・区域はまだ決定ではなく、今後、国、県、市の関係機関などと話し合いながら近い将来決めていきます。





## (2) 石巻市震災復興基本計画における南浜地区と中瀬地区の位置づけ

※カッコ内の数字は、石巻市震災復興基本計画のページに対応。

- 旧北上川河口には震災復興のシンボルとなる公園を整備します。(p40より)
- 石ノ森萬画館を核とした、中瀬地区の公園整備と有効活用を促進し、中心市街地の活性化と連動したまちなか観光の推進に努めます。(p83より)
- 南浜町地区については、鎮魂の森公園として整備を推進します。(p96より)
- 中瀬や南浜町地区の公園については、震災復興のシンボルとして、これまでの石巻市の歴史を継承・発信していく観光拠点として整備を推進します。(p97より)



将来構造 (p97より)

| 主な事業       | 事業内容                              | 実施主体  | 実施時期    |
|------------|-----------------------------------|-------|---------|
| シンボル公園整備事業 | 震災復興のシンボルとなる鎮魂の森公園や多目的広場を備えた公園を整備 | 国、県、市 | H23~H32 |

(p124より)

## 8. ワークショップの内容

### (1) 子どもワークショップ 第1回

#### 概要

- ①日時：平成24年12月16日（土）午前10時～正午 ②場所：石巻市役所5階市民活動ルーム  
 ③参加者：小学校6校から8名、中学校5校から21名

#### ワークショップの目的・ねらいと内容

- 目的・ねらい：  
 ・身体を動かしたり、みんなの前で発表したりしながら、アイデアを膨らませます。  
 ・子どもたちの創造性を引き出す。  
 ・普段の勉強とは違った貴重な体験をしよう。
- 内容：  
 ①ストップモーション（ビデオ撮影）によるアイスブレイク（緊張を解く活動）。  
 ②公園が「いつ？ 誰が？ 誰と？ 何を？」場なのかを考える。  
 ③自分、家族、友達などが好みそうな物事を想像する。  
 ④「みらいの公園はこうなったらいいな」を考え、アイデアシートに文章と絵で表現する。



アイスブレイクの様子



テーマに沿ってアイデアを想像中

#### 参加者全員による「みらいの公園はこうなったらいいな」のアイデア

| No. | 公園タイトル        | No. | 公園タイトル         | No. | 公園タイトル                       | No. | 公園タイトル           |
|-----|---------------|-----|----------------|-----|------------------------------|-----|------------------|
| 1   | 無重力ドーム        | 13  | 高い公園           | 25  | 安心して遊べる公園                    | 37  | 誰でも使えるサッカーコート    |
| 2   | 地下公園          | 14  | Free な公園       | 26  | 木の上の公園                       | 38  | Table tennis     |
| 3   | お菓子の公園        | 15  | 発表公園           | 27  | いろいろ公園                       | 39  | 石巻部屋公園           |
| 4   | 季節関係無しの公園     | 16  | 老人がハチャメチャできる公園 | 28  | にげまくりランド                     | 40  | 室内プール（温水）のある公園※  |
| 5   | オアシス          | 17  | 水の公園           | 29  | ふれあいの公園                      | 41  | クロノス公園           |
| 6   | 移動ができる公園      | 18  | スポーツ広場         | 30  | Music Park                   | 42  | 空を飛べる公園          |
| 7   | 実は〇〇な公園       | 19  | のびのび球場         | 31  | 野球、サッカー、バスケの三大スポーツができるスタジアム※ | 43  | テニスコート           |
| 8   | 宇宙人が来ても大丈夫な公園 | 20  | 温故知新がある公園      | 32  | 希望の公園                        | 44  | 子どもの夢をかなえちゃう!!公園 |
| 9   | の〜んびりできる公園    | 21  | Happy Park     | 33  | 夢公園                          | 45  | ウォーターフラワー☆       |
| 10  | 映画公園          | 22  | Talk 公園        | 34  | 電車好きの集まる公園※                  | 46  | 世界一の剣道場          |
| 11  | ゴロゴロ公園        | 23  | いろいろ公園         | 35  | みんなの公園                       |     |                  |
| 12  | いつでも遊べる公園     | 24  | おかし公園※         | 36  | かぶと・クワガタ                     |     |                  |

注) 複数作成した参加者がいますので46点のアイデアになりました

※ 公園タイトルは未記入のため、コンセプト・概要を参考に事務局で記載しました



テーマに沿ってアイデアを想像中



アイデアシートに文章と絵で表現する



貼り出された思い思いのアイデア



アイデアを振り返っている様子

## (2) 子どもワークショップ 第2回

### 概要

- ①日時：平成25年1月26日（土）午前10時～午後2時30分
- ②場所：石巻市役所5階市民活動ルーム
- ③参加者：小学校4校から4名、中学校3校から13名

### ワークショップの目的・ねらいと内容

- 目的・ねらい：  
 ・ワークショップで考えた公園のカタチを発表する。楽しい発表になるよう、サポートメンバーと一緒に考え、練習をして、発表に臨む。  
 ・公開で行い、市報や新聞記事を通じて、広く市民に公園づくりのアイデアを発表する。

#### 内容：

##### <午前：準備>

- ①ストップモーション（ビデオ撮影）によるアイスブレイク（緊張を解く活動）。
- ②発表方法の練習
- ③宣言書と未来の公園のタイトルボード作成

##### <午後：発表>

- ①各自発表
- ②宣言書の手渡し

### 「宣言書」の内容（参加者ごとに公園のアイデアをワークシートでまとめた）

| No. | 公園タイトル       | どんなひと、誰が使うか                       | コンセプト・概要   |
|-----|--------------|-----------------------------------|--|
| 1   | 空を飛べる公園      | ・空を飛んでみたい人が使う。<br>・みんなのための公園      | ・上からつるされて、下から来る強風で空が飛べることができる公園。楽しみながら安全に飛べる。  |
| 2   | 石巻部屋公園       | ・遊びたいと思っている人が友達や家族といつでも来れる公園。     | ・部屋の中でのんびり出来て誰でも使える公園<br>・ゲームや本があったりお店がたくさんある。   |
| 3   | みんなの公園       | ・男女関係なくみんな使える公園。                  | ・みんながまたきたくなるような公園にしました。楽しくあそべる秘密基地的なものができるだけ目指しました。  |
| 4   | THE JAPANESE | ・親子。友達。老人。彼カノ。                    | ・近所づきあいをさかんにするため、中央のトラックで町内うんどうかいなどをひらけるように!!あとは・・・心の安らぎがほしい人!!この公園では、つらいことや悲しいことを忘れてほしい!! |
| 5   | 希望の公園        | ・子どもから老人まで使える。<br>・決まりはない、誰でも。    | ・まよってもいつかはきっと出口が見える。そのように震災もまよっていてもいつかはきっと答えが見えると言うような「希望」を表した公園です。                        |
| 6   | ふれあい park    | ・小さい子どもやおじいさん、おばあさん、などたくさんの人が使える! | ・たくさんの犬やねこなど小さい動物がいて、誰でも楽しくふれあうことができる!   |
| 7   | みんなの公園       | —                                 | ・子どもからお年寄りまで遊べて、安心して楽しむことができる公園。<br>・建物の中でも、本を読んだり、冬でも暖かく楽しめるつくりになっている。                    |
| 8   | フラワーパーク      | ・花好きの人。<br>・家で花を栽培できない人。          | ・花好きの人が集まり、自分の好きな花を栽培できる公園。  |

| No. | 公園タイトル                  | どんなひと、誰が使うか  | コンセプト・概要   |
|-----|-------------------------|--|--|
| 9   | 真実の公園                   | ・人生に迷いがある人。  | —  |
| 10  | のびのび球場                  | ・自分たち。<br>・野球やっている大人や小中学生。<br>・野球が好きな人。<br>・練習場所がない人たちのため。 | ・野球の試合や練習するための公園です。<br>・そのために大きな野球場でのびのびとプレーできるようにになっています。   |
| 11  | 高い公園                    | ・誰でもつかえる。<br>・おばけ、人々、宇宙人、動物、(もしかしたら神様も)、みんながまた一つになれるように。   | ・この公園の遊具は階段でつながっていて、高くなっている。そのため場所が小さくてすむ。   |
| 12  | 安心して遊べる公園               | ・釣り人さんや公園に遊びに来た人、避難しに来た人、小学生、中学生がつかう。                      | ・この公園は、スポーツや遊具などで遊ぶことができ、釣りもできます。一番の特徴は、地震や津波が来ても海底トンネルに逃げて、日和山に行けることです。だから安心して遊べます。   |
| 13  | いろいろ公園                  | ・大人、子ども、お年寄り、カメラ(写真)をとる人、散歩をする人。                           | ・花と花の間にある、あのベンチは子どもと大人と一緒にこの公園に来たとき、子供が遊んでいるのを大人が花を楽しみながら、子どもを見守れるところです。<br>・花が咲いているところは季節ごとにいろんなきれいな花が咲くところです。記念撮影ができるし、おもう存分花を楽しめます。<br>・ブランコが4つあるところがある、ブランコは通常は2つしかないけれど、4つあれば待つなくても、すぐ乗れる。<br>・黄色の丸い形の遊具は、雨の日は、中で遊べて晴れの日には上のにぼって辺りをみわたせる。 |
| 14  | 落書き公園                   | ・絵が好きな人。<br>・苛々している人。<br>・暇な人。                             | ・みんなで楽しく、自由に絵を描ける公園。しかも手ぶらで!!  |
| 15  | オアシス                    | ・運動したい人。   | ・運動したい人がカラフルな道を歩いたり、まわりの道を走ったりできる公園です。ジャングルジムやブランコ、長い滑り台があつて、子どもからお年寄りまで楽しく遊べる公園です。  |
| 16  | 地下公園                    | ・景色を見るのが好きな人。<br>・変わっている人。                                 | ・この公園はとても楽しめる公園です。上は散歩コースで景色がきれいで、滑り台で地下に行ってくつろぐことができます。   |
| 17  | 桜並木の公園 in the Aquarium! | ・子供から大人までみんなが楽しめる!   | ・子どもはたくさんの遊具があるからにぎわうし、春になったら桜が咲くから、お花見や散歩もできる!<br>・桜は津波で流されたからたくさん植えたい! 海に行けない(というか行く勇気がない)人も多いから、水族館を建てれば皆嬉しいと思うし、石巻にたくさん人来てくれるから!!  |



市長挨拶



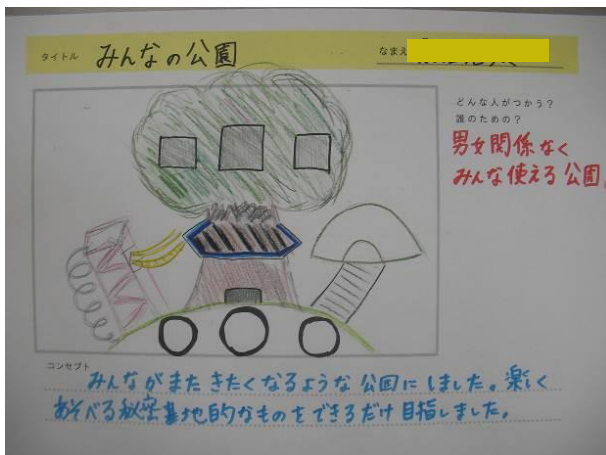
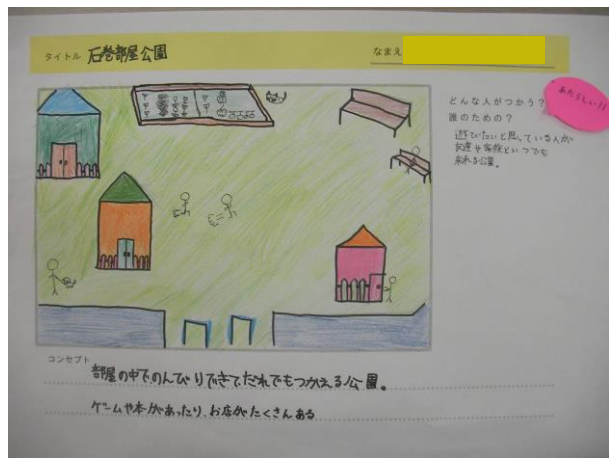
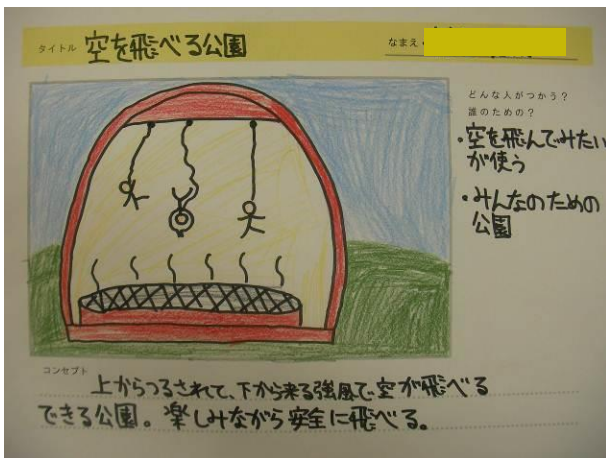
「公園のアイデアの選定・修正」の様子



「未来の公園」ボード作成の様子



副市長へ宣言書を手渡す



「公園のアイデアをカタチにしよう」(宣言書の内容)

**タイトル 希望の公園** なまえ

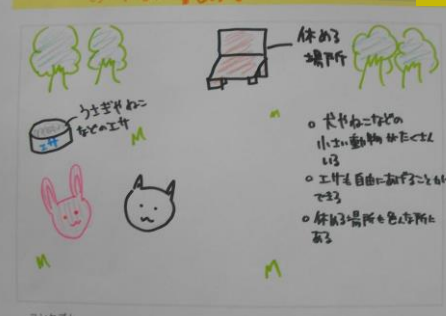
迷路

どんな人がつかう?  
誰のための?  
子供から大人まで  
使う

希望の公園

コンセプト  
迷路も一つかき、出口が見える。迷路が震災も迷ってしまっても見えてくれる希望の公園です。

**タイトル ふくあいPark** なまえ




休める場所

どんな人がつかう?  
誰のための?  
小中高生、おじいさん、おばあさん、子ども、大人が使える!

- 犬やねこなどの小型動物が使える
- 仕事が自由に行うことができる
- 休憩場所の色塗りができる

コンセプト  
犬やねこなどの小型動物がいて、誰でも楽しむことができる!


**タイトル みんぱの公園** なまえ



どんな人がつかう?  
誰のための?  
子供から、おじいさんまで遊べる。安心して楽しむことができる公園。

コンセプト  
建物の中は、季節ごとに、冬でも暖かく楽しめるようにしている。


**タイトル フラワーパーク** なまえ



どんな人がつかう?  
誰のための?  
花好きな人、おじいさん、おばあさん、子ども、大人が使える!

コンセプト  
花好きな人が集まり、自分の好きな花を栽培できる公園。


**タイトル 真実の公園** なまえ



どんな人がつかう?  
誰のための?  
大人は、まじいがある。

コンセプト


**タイトル のびのび球場** なまえ



どんな人がつかう?  
誰のための?  
自分たち、野球が好きな大人や小中学生、野球が好きな人、練習場所が必要な人たちのため。

コンセプト  
野球の試合や練習する公園です。同時に、大規模な試合の開催も可能です。


**タイトル 高い公園** なまえ



どんな人がつかう?  
誰のための?  
だれでもつかえる、おぼけ、人々、宇宙人、動物(おぼけの動物)、みんなが一緒に楽しめるように。

コンセプト  
この公園の遊具は、かたんでつながっていて、高くなっている。そのため、場所が小さくても、のびのびした空間が広がる。

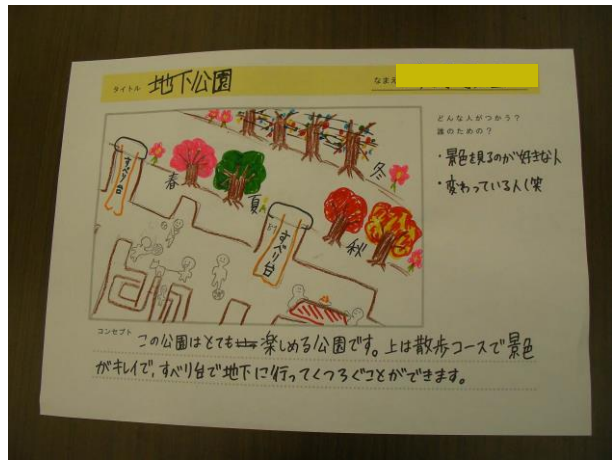
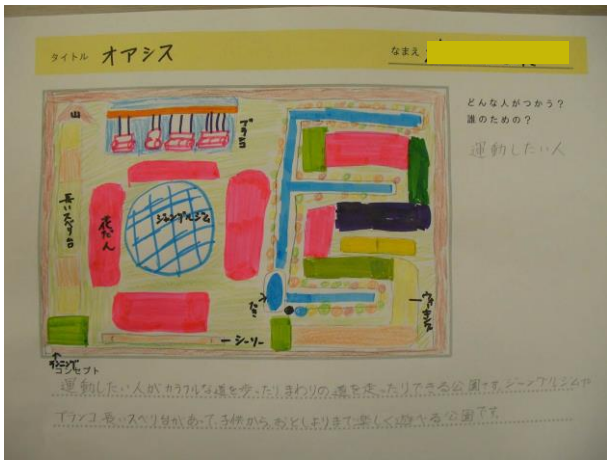
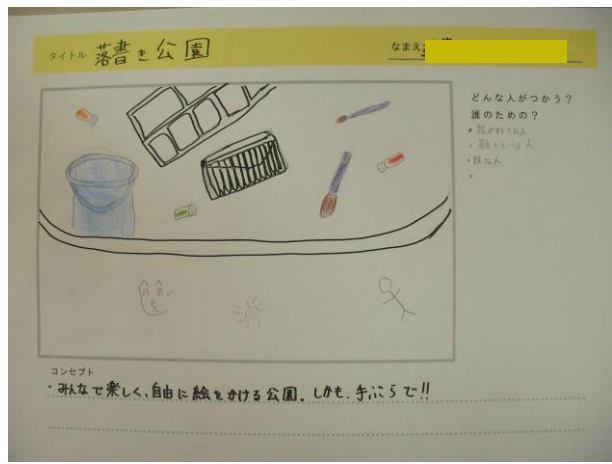
**タイトル 安心して遊べる公園** なまえ



どんな人がつかう?  
誰のための?  
釣り人や公園に遊びに来た人、ひな人に来た人、小学生、中学生がつかう。

コンセプト  
この公園は、スポーツや遊具は普通の公園。一番の特徴は、地震や津波が来ても、地下のトンネルに逃げ、日和山に行けること。だから、安心して遊べる公園。

「公園のアイデアをカタチにしよう」(宣言書の内容)



「公園のアイデアをカタチにしよう」(宣言書の内容)



### (3) 一般ワークショップ 第1回

#### 概要

- ①日時：平成24年12月16日(土) 午後1時30分～午後4時30分
- ②場所：石巻市役所5階市民活動ルーム
- ③参加者：NPO等の団体17名、町内会代表2名、公募参加者13名

#### ワークショップの目的・ねらいと内容

- 目的・ねらい：  
・参加者が公園づくりを主体的に発想するための「チーム」をつくる  
・参加者がチームとなって、公共性の高いアイデアを発想し、公園の計画策定のヒントを集める
- 内容：  
①参加者同士の自己紹介(自分の好きなもの、場所等を紹介)  
②ワールドカフェ形式※1により、石巻のいいところやあったらよいものを挙げ、広い視点で石巻らしさなどを検討し、これを踏まえて、参加者が考える石巻にあったらよい公園のアイデアを出した。  
③最後に参加者が意見を発表した。

#### <参加者の声>

##### ワークショップで発言された主な意見

- 国・県・市の現状の情報を共有したい。
  - 中瀬・南浜は別々に議論したい。
  - 参加者の公園に関するこれまでの活動や具体案を互いに認識したい。
  - 鎮魂についての議論をしたい。また、遺族の意見を聞きたい。
  - 今回の3回のワークショップで終わってしまうのは良くない。
  - 公園の活用もどうなるか心配である。
  - 次世代の子ども達が楽しめる切り口が重要だと思う。
  - 公園で遊ぶ人の防災的安全面について意見を述べる場がなかった。
  - 是非、国営公園となるよう皆でがんばりましょう。
- ※その他、ワークショップの運営やプログラムについて、参加者からの質問・意見・要望があり、次回プログラムへの反映が望まれた。



意見発表の様子



「こんな公園あったらいいな」シート  
の記入例

#### ※1ワールドカフェ形式

- 話し合い形式のひとつで、テーブルごとに話し合うテーマと場を仕切るホスト役を一人決め、テーブルのテーマについて意見を机上の模造紙等に記録しながら進めます。
- 決まった時間(今回は15分)でテーブルを移動します。ホスト役はテーブルに残り、新しいメンバーにこれまでの議論を説明し、それを踏まえて話し合いを再開します。
- これにより、ひとつのテーマに対して多くの人の考え、アイデアを集めることができます。



ワールドカフェの様子

※重複するものもあります。

|   |
|---|
| <p><b>祈り・慰霊／記憶・伝承／防災</b></p> <p>祈りの場（多くの人々が集う場があってほしい）。手を合わせる。鎮魂（大震災を忘れないメモリアルシンボル（ガレキ使用可）。鎮魂。前方後円墳：大香炉・慰霊碑（震災のガレキ利用）。シンボル、世界に発信（公園からメッセージを世界に発信。市民が集い世界中から人が集まる場所）。震災祈念館（安心・安全な公園であってほしい）。大震災・関連メモリアル（ハコ物は必要最小限に）。震災記念館。日本一の施設（復興を祈念するもの）。感謝（過去と未来にふれる公園）。樹林による防災・減災効果の活用。</p>   |
| <p><b>歴史・文化（船・塩・食）（川湊）（海・川）＋観光（水族館）</b></p> <p>海事公園（石巻の歴史的な船を復元展示）。南浜：静的（歴史）。日本文化・歴史・観光（日本文化の見直しと石巻の歴史と観光を結び付けられるような公園）。塩田。塩田の歴史を起こす。職人村・塩・島・船（文化ホール）。</p> <p>水産物を活かした（魚・市場・笹かま）。自然（川・海・離半島）を活かす（食材を生かした街づくり）。自然（川や海）を活かして。食べ物特産、食材を活かす。食材をそろえ観光・物産を発信。食・宿泊施設（温泉、ホテル、レストラン、観光見学・買物）。森の中に公園がある（文化・美術・宿泊・カフェ・市場）。</p> <p>文化、歴史、市場、観光（美術館・水族館・飲食購買施設）。日本一の施設（リピーターの来るにぎわいの場、陳腐化しないハブ観光施設）。観光名所があって（演劇・水族館）。地元の物産を見せる販売所。観光、石巻、路地ウォーク（観光ホテル、ふるさと物産館、笹かま、たらこ、食材日本一、水族館）。川湊の歴史（レストランシアター、路地の屋台、物産館）。水族館。南浜から金華山へ船の発着場。多目的広場。アートのある公園。中瀬：動的（観光、Livehall、アート）。美術館、川・港・道の駅。文化施設。でっかい図書館。大人の街。漫画を取り入れる。まちの公園に役割をもたせる。</p> |
| <p><b>海・川（ヨット、ポート、マリンスポーツ）／親水／水族館　＋観光</b></p> <p>海、川（海・川などの自然環境を活かしたスポーツができる場所）。海と川、自然を利用し観光客を呼び（民宿、ポート・ヨットハーバー、南浜から金華山への航路、水族館）。親水性、川湊の歴史（マリーナ、水上タクシー、水族館）。マリーナ（カヌー、ヨット、つり船などを呼び込み交流人口・仕事の場・観光客を増やす）。スポーツ施設（マリンスポーツ、ヨットハーバー）。川・港・道の駅。中瀬にマリーナ。マリーナ、市民広場。船・ヨット etc（海と川）。マリンスポーツ。</p> <p>川や海の生物とのふれあい。水とふれあえる。北上川と接する親水空間。親水空間（中瀬：川との共生、ヨット・ボートの係留、ボート遊び）。自然（川や海）を活かして。中瀬：動的（自然体験）。水族館。</p>   |
| <p><b>景観・風景・風土（＋観光）／いやし、森、花、緑</b></p> <p>景観（ロケーション＋観光、交通や防潮堤の景観）。中瀬に 360° 望めるエコの道。中瀬に 360° 眺望できる緑の空間（展望の創造で観光力を）。路地・広場（町の象徴的な）。色んな世代が集まれる（大人も子供も集まれる広場）。</p> <p>南浜：静的（いやし、ピクニック）。自然と遊べるミニ空間：中瀬（ツツジの再現・丘をつくる）。気持ちの良い場所。（大人の街）。川や海の生物とのふれあい。北上川と接する親水空間。自然（川や海）を活かして。大自然（自然を生かす。老若男女がくつろげる）。人と自然、過去と未来にふれる公園。森の中に公園がある（歩道・花々・水路・自転車道、樹林）。海岸林、遊水堤、それ自体が公園となる（石巻の風土を活かす）。何も無い公園。芝生広場。自然、観光。</p>   |
| <p><b>スポーツ（陸）</b></p> <p>運動公園。スポーツ・文化（スポーツパーク）。スポーツ。スポーツ施設（サッカー、ゴルフ場）。スポーツ・アスレチック施設。クロスカントリーコース。</p>  |
| <p><b>子ども</b></p> <p>色んな世代が集まれる（大人も子供も集まれる広場）。子どもが遊べる場を。子どもが自由にできる公園。プレーパーク。遊具のある公園。子どもが合宿などできる複合施設。</p>  |
| <p><b>その他（運営、地域連携、ロープウェイ、市民活動、国営）</b></p> <p>離半島・金華山・田代島の観光開発。公営ギャンブルで公園の運営を図る。日和山～中瀬にロープウェイ。市民活動。国営の。</p>  |

## (4) 一般ワークショップ 第2回

### 概要

- ①日時：平成 25 年 1 月 27 日（日） 午後 1 時 00 分～午後 5 時 10 分
- ②場所：石巻市役所 5 階市民活動ルーム
- ③参加者：NPO 等の団体 17 名、公募参加者 11 名

### ワークショップの目的・ねらいと内容

目的・ねらい：現状での計画や検討のための参考情報（事例等）を紹介する。市民・NPO のみなさんの考えや活動を互いに認識する。

内容：①現状での計画や祈念公園の事例を紹介した。

紹介した計画：【市】「石巻市震災復興基本計画」「水辺の緑のプロムナード」における、南浜公園、中瀬公園に関係する箇所など。

【国】「復興への提言～悲惨の中の希望～」「東日本大震災からの復興の基本方針」「東日本大震災に係る鎮魂及び復興の象徴となる都市公園のあり方検討」における、祈念公園に関係する箇所など。

②市民・NPO のみなさんの考えや活動を互いに認識するため、参加者自身が発案した 6 つのテーマに沿って、分科会形式※2で検討した。

③最後に分科会の代表が意見を発表した。

<検討内容（参加者の声）>分科会のほか、参加者からあった主な意見です。

○議論をするにあたって、ある枠組みの中で行うのか、まっさらな状態で行うのか不透明。もう少しワークショップの進行について検討してほしい。

○国・県・市の方針がだされては、その枠内でしか議論ができない。

○ワークショップに参加する人は意見をしっかり言える人が多いが、声にならない声も汲んでいくことが大事。

○8年後の完成の前に、つくりながら実用化して利用できる進め方をしていけば、市民も一緒になってつくりあげる事ができるのではないかな。

○全てを森にするのは納得できない。もう少し考えるべきだ。

○今日参加して行政の話を聞いてよかった。

○観光という言葉は被災地を興味本位に見るような捉え方もあり、気をつけないといけないと思いました。

○小さな声を束にして大きくしていきたい。

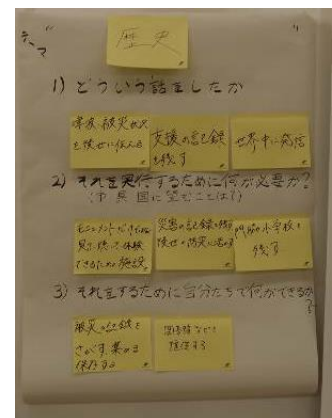


### ※2 分科会形式

○分科会は、テーマと、そのリーダーを決めて進めました。リーダーは、「話した内容」「実行するために必要なこと（市・県・国に望むこと）」「それをするために自分達で何ができるの？」について、議論を進めました。

○分科会は、1回 30 分の議論を 2 回行い、参加者は、自分の検討したいテーマのテーブルに行き、議論を重ねました。

○検討するテーマは、第 1 回、第 2 回のワークショップを踏まえ、参加者からの発案で、「慰霊・鎮魂」、「防災」、「歴史・文化」、「自然」、「レジャー・スポーツ・遊び」、「10 年後 20 年後の公園の位置づけ」の 6 テーマとしました。検討後、テーマ毎に発表しました。



分科会で議論したシート

## 分科会テーマに沿って検討した発表内容

| No. | 分科会テーマ                            | 検討内容   |
|-----|-----------------------------------|--|
| 1   | <b>慰霊・鎮魂</b><br>(南浜公園)            | ①遺族の気持ちを本当に考えてきたか？⇒我々は遺族の本当の気持ちはわからない。<br>②涙を流す空間、心が休まる空間が今必要。未来に向けては、そこで“何が”あったか伝える(教育)。<br>③構造物とかではなく、遺族に寄り添う。〈遺族の話を書く。祈る〉⇒来訪者に伝える   |
| 2   | <b>歴史・文化</b>                      | ①津波・被災状況を後世に伝える。支援の記録を残す。世界中に発信。<br>②見て、聞いて、体験できる施設。災害の記録を残し、後世の防災に活かす。門脇小学校の保存が検討課題。<br>③被災の記録を探し、集める、保存する。図書館等に提供して後世に伝える。   |
| 3   | <b>防災</b>                         | ①公園での防災(丘・避難タワー、ドーム、何よりも日和山への避難路)。日和山の大きな位置づけ⇒避難時の井戸水の活用。学校の活用。歴史性、地形(湿地)の履歴。水との戦い⇒雨水対策。<br>②“市として”日和山の防災拠点計画、井戸水調査。“国として”公園の水害対策、備蓄。<br>③個人のできることは少ない。調査への家庭単位での協力。町内会づくり。避難訓練。                   |
| 4   | <b>自然</b>                         | ①様々な自然に対するイメージ。目指す公園(地元の木、四季折々、丘があり海が見える、生命力を感じる、花、植樹によりメッセージを伝える、共存・共生、産業を生みだす、南浜の湿地の歴史)。<br>②国が木を植えるための地盤を整備。市民、ボランティア、企業・NPOが協力して植林。<br>③税金を使わず続けられる活動や維持の仕組みをつくり地域活性化につなげる。                    |
| 5   | <b>レジャー<br/>スポーツ<br/>遊び</b>       | ①中瀬公園：川を渡ると特別な空間(バーベキュー、川の遊び、スポーツ指導、管理事務所)。次世代につながる(市民管理とそれによる雇用)。のびのび遊べる。 南浜公園：武道館<br>②予算。運営(管理する人の飯の種になる仕組み。市民運営できる仕組み)。<br>③国営公園の場合でも、国からの予算や流れを把握しておく。デザインの力。                                  |
| 6   | <b>10年後20年<br/>後の公園の<br/>位置づけ</b> | ①公園の管理(どうしたら黒字になり、人が集まり、コストが掛からないのか)。若者が定着する公園。<br>②民営化。Web公開。ソフト面のデザイン(運動につなげる、子どもたちが苗を育てて植樹、みなとの森公園の例)。子ども、ママ、若者が関心を持つコンテンツ(マンガ、コスプレ)。プロセスの見える化。<br>③市民が盛り上げ、市民が管理していくために、一人ひとりが関心を持って、公園づくりに参加。 |

### 【市からの方針説明】

- 公園は、今回3回のワークショップで終わりではなく、2021年3月の完成を目標に、市民の想いを聞きながら検討を続けていく。
- 今回のワークショップでは、ひとつの意見にまとめるのではなく、すべての意見が成果であり、それを整理することが大事。
- 南浜公園は、今後、国・県と協力し検討を進めていく。今回整理する市民の想いは、この会議にも挙げていく。



分科会の検討の様子



分科会後に行われた全体セッションの様子

## (5) 一般ワークショップ 第3回【南浜公園】

### 概要

- ①日時：平成25年2月16日（土） 午前10時00分～午後1時00分
- ②場所：石巻市役所5階市民活動ルーム
- ③参加者：NPO等の団体7名、町内会代表1名、公募参加者9名

### ワークショップの目的・ねらいと内容

目的・ねらい：  
・公園において市民/NPOの皆さんが既に行っている活動を互いに認識する。  
・今後の公園づくりの中で、行っていきたい活動を話し合う。  
⇒国や県に、地元の要望をあげていく。

- 内容：①国・県等の動向に関する情報の共有（「国の次年度調整について」「県の博物館構想」「遺構保存検討対象」）
- ②子どもワークショップの概要紹介。「みんなの公園」「誰かの気持ちになろう」「春夏秋冬いろいろな花が咲く公園」「出会いが生まれる」「安心できる」等のキーワード・エッセンスの紹介。
  - ③参加者の行っている活動や、これからしたいと考えていることを発表し、誰がどのような活動や意識があるのかを認識し合った。
  - ④金魚鉢形式<sup>\*3</sup>による全体議論を行い、テーマをより深く掘り下げた議論を行った。
  - ⑤今後自分が公園づくりに関われることについて「宣言」を行った。
  - ⑥ワークショップの記録づくりに関わる人を3名選出した。

### <亀山市長あいさつ>

- 南浜地区については、国営の祈念公園ということで国に要望してきており、今回、復興庁が調査費を認めたことで、私としてはかなり実現性が高まったと思う。
- 南浜地区は、鎮魂の杜、あるいはアーカイブとして、震災の教訓をしっかりと残していくことと、多くの方への感謝を含めて、復興のシンボルとしていきたい。

### <全体議論 要点>

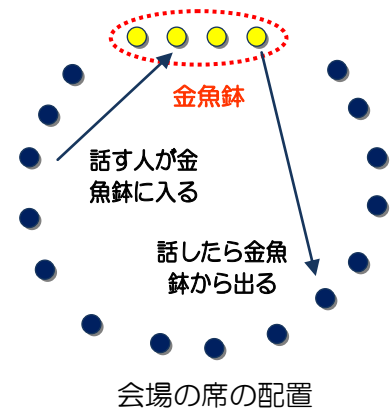
- 南浜公園は、復興計画に公園として位置づけられるまでの経緯や、多くの方が亡くなっていることを踏まえると、「慰霊」、「防災・減災」というコンセプトが第一になる。これを踏まえたいうえで、議論をしていくべきである。
- 「慰霊」は、多くの方が来て手を合わせてくれるところ。心が癒される場所。
- 「防災・減災」は、堤防や避難ビルなど、様々な防災・減災機能を考えることが大切。
- 「自然」は、森や花壇をつくり、命を感じられるような公園にできないか。また自然は慰霊に近い。子どもが遊んだり、心が癒される場所にもなり、人が集まる。
- 「子ども」の視点が大切。南浜周辺には、体を動かす場所が少ない。将来の子どものために「スポーツ」ができる場所、遊べる場所の検討も必要ではないか。
- 具体的な整備内容については、遺族の方、次世代、来訪者など、公園を利用する人たちのことを考えていくことが重要である。特に、遺族のことを考えて、慰霊施設、杜（森）、スポーツ施設等について検討する必要がある。
- 公園づくりには、子どもから大人まで、多様な人々が関わっていけるような仕組みづくりが大切である。
- 完成が平成32年度だが、その前に公園づくりに携わりたい。
- 次世代へ伝えること、県外・世界へ発信できる公園にしていくことが大切である。



金魚鉢形式による話し合いの様子  
(話す人は前にでて意見を述べた)

### ※3 金魚鉢形式

- 話す人がみんなの前に出て話し合いを進める形式で、見られている席を金魚鉢に見立ててこの名称がついています（右図）。
- より多くの人に話してもらい、また深く議論するためにこの形式をとりました。
- また、今後の公園づくりを見据え、誰がどんな意志をもって、どんな活動をしようとしているのか、お互いをより深く知る機会とします。



#### <震災復興部堀内次長あいさつ>

○南浜の公園は、国・県・市の機関の立場だけではなく、市民の方のご意見をどういった形で組み入れることができるか考え、国・県・市・市民がひとつになって、それが国のモデルケースになるように考えていきたい。

<宣言> 参加者自身が公園づくりのために何ができるかを、一人ひとり宣言しました。

| No. | 内容  |
|-----|---|
| 1   | ・私は、南浜公園づくりのために、今後なんでもします。南浜地区（雲雀野、門脇）は、市民の故郷になるような所にそだててつくるべきと思いますので、それに向けて尽力します。亡くなった人々の供養と生き残った人々の生きる力を得る為に様々な試行をして、最終的には故郷を感じる所にしたいと思います。 |
| 2   | ・地域の子供達、それ以外の人達にどのようなコンセプトでつくっていくのか、それをどのように伝えていってほしいか、というのを教えていきたいです。他の団体との連携をとって地域を活性化させていきたい。  |
| 3   | ・子どもと産み育てる人たちの意見を聞いたり、公園づくりへの皆さんの思い、経過を伝えて、一体感を持って進みたい。   |
| 4   | ・利用者のひとりである子どもの意見が取りいれられるように、地域・行政に働きかけます。  |
| 5   | ・公園に人が集まれる工夫を考えていきます。   |
| 6   | ・私は、南浜の公園づくりのために、今後継続的に関わっていきます。具体的には「いのちの森をつくる会」に参加して、公園の中身をよりよいものにするための話し合いを重ね、提言と植樹等の活動を実践していきます。  |
| 7   | ・誰もが憩えるスペースを子ども達や地域の人々、また全国からの方々も巻き込んで作っていきたい。いのちの森公園は賛成です。   |
| 8   | ・いのちの森公園の植林、守る、育てる、遊ぶ、寄り添う、交流する拠点として、活動します。次世代の子供達のため。  |
| 9   | ・日本文化の再評価とその良さを世界へ発信する公園としたい。   |
| 10  | ・たくさんの人たちに声をかけ関心を持ってもらうよう努める。たくさんの人たちの公園であることを啓発する。震災を忘れないように世界に発信する。   |
| 11  | ・スポーツの普及活動をすると共に、スポーツ環境づくりを理解してもらえる様な、積極的な仲間作りをします。   |
| 12  | ・遊びの場やマリンスポーツ、スポーツを活かして、地元の人々や外から来る人々が、楽しくつどえる活動をしていきたいです。いろいろな人々が集まり、語り合うことが、地域の発展につながるはずです。   |
| 13  | ・意見交換や植林など、市民参加できる機会があれば積極的に参加します。  |
| 14  | ・公園づくりは、はじまっていると思う。やれることは一つ一つクリアしていきたい。   |

#### ■国・県・市に対してお願いしたいこと(主なもの)

| No. | 内容   |
|-----|--|
| 1   | ・①防災公園、②減災公園をコンセプトに公園をつくってほしい。目指してほしい。   |
| 2   | ・公園をつくるのにあたり、市民のワークショップを継続し、市民一人ひとりを大切に意見を聞いてほしい。また、子供ももっと公園づくりに参画できるようにしてほしい。 |
| 3   | ・子どもに夢を与える様な施設を作してほしい。   |
| 4   | ・ワークショップだけではなく、より広く意見を吸い上げてほしい。  |
| 5   | ・今までのワークショップの資料をまとめて一般の方が見れるようにしてほしい。一般の方の意見を上の方に伝えてほしい。                       |
| 6   | ・一日も早く着工してほしい。   |
| 7   | ・公園づくりにあたっては、協議会のような市民組織をつくり、積極的に市民が関われる仕組みをつくってほしい。                           |

## (6) 一般ワークショップ 第3回【中瀬公園】

### 概要

- ①日時：平成 25 年 2 月 16 日（土） 午後 14 時 30 分～午後 17 時 30 分
- ②場所：石巻市役所 5 階市民活動ルーム
- ③参加者：NPO 等の団体 9 名、公募参加者 4 名 合計 13 名

### ワークショップの目的・ねらいと内容

目的・ねらい：・公園において、市民/NPO の皆さんが既に行っている活動を互いに認識する。  
・今後の公園づくりの中で、行っていきたい活動を話し合う。  
⇒市民と市で、ともに公園をつくっていく準備

- 内容：①国・県の動向に関する情報の共有。  
②子どもワークショップの概要紹介。（内容は、南浜公園時と同様）  
③参加者の行っている活動や、これからしたいと考えていることを発表し、誰がどのような活動や意識があるのかを認識し合った。  
④金魚鉢形式による全体議論を行い、テーマをより深く掘り下げた議論を行った。  
⑤今後自分が公園づくりに関われることについて「宣言」を行った。  
⑥ワークショップの記録づくりに関わる人を 3 名選出した。

### <全体議論 要点>

- 石巻市民が中瀬で楽しむことが大切である。市民が楽しくないと観光客も来ない。
- 石巻市民が親しんできた水と街が近い立地であること、歴史的なことを踏まえ利用を考えていくべきである。特に、川の中にあるので、街なかではできないイベント、遊び、スポーツが可能な空間があり、それが強みとして考えられる。水辺にあることを活かし、他の公園との差別化を図る。
- 中瀬は、北上川フェアなど 10,000 人規模のイベントが行われてきた場所で、今後とも様々な人がコラボレーションしてイベントを開催していくことが大切である。一方で、有時の避難方法など、防災を踏まえて検討する必要がある。また、満潮時には浸水する部分があるため、盛土をしたり、しないところは安全柵などの措置を講じる等の対策が必要である。
- 中瀬は、水辺に囲まれ、以前から危険な場所もあるので、それを認識して利用する必要がある。
- ハリストス正教会教会堂の歴史や今後の復元先の検討、中瀬の歴史を把握することなども大切である。
- 平成 32 年度の完成の前に、段階的な市民参加による公園の利用や整備はできないか。

### <亀山市長閉会の挨拶>

- 中瀬をどのような公園にしていくか、次のステップに進むためには今回の様々な意見を踏まえて、絵を描くことが必要になると思う。改めて機会をつくるので、ご意見いただきたい。



金魚鉢形式による話し合いの様子（話す人はみんなの前（写真の左側）に出て意見を述べた）

<宣言> 参加者自身が公園づくりのために何ができるかを、一人ひとり宣言しました。

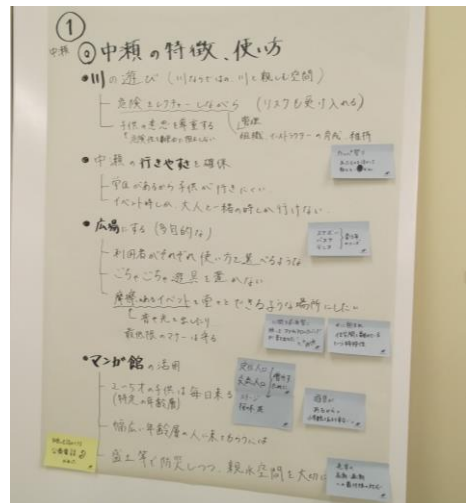
| No. | 内容   |
|-----|--|
| 1   | ・どのようなコンセプトにしていくかを皆さんと具体的に話していき、地域の人たちが親しんでいけるところにしたい。一般の人たちが自然をきれいにしたいと思うように色々伝えたい。他の団体との連携を深めたい。                         |
| 2   | ・地域の人々が集う場所となるような公園づくりを実現させるための取り組み（小さなことから）。圏外からの来街者も楽しめるような設備ができるようなアイデアを考える。⇒にぎわい創出                                     |
| 3   | ・公園を利用する市民自ら、公園づくりを考え、管理していくという視点の下、中瀬の歴史の変遷、子ども、水辺のレジャー、文化など、多様な切り口から、知見や思いを集められる場を、具体的現実的に活用することを考えながらそして活用しながらつくっていきたい。 |
| 4   | ・地域の人と公園づくり、運営の仕組みを作ります。⇒安全・安心/環境…市民が責任を持って管理すれば可能性が広がりますよね。若者が中心でつくる公園。   |
| 5   | ・水辺の景観をどうしたら復活するか、考えます。  |
| 6   | ・北上川に関する教育として、水質などの環境改善活動に関わりたい。   |
| 7   | ・全体図のアイデア提供。運営・活用時の協力。   |
| 8   | ・公園の周辺（特に、立町大通商店街）の環境づくり（ソフト面）のお手伝いをします。<br>・子どもセンターを利用し、人の流れ増加に貢献。  |
| 9   | ・船のたまり場が出来れば、川遊びやマリンスポーツをして、人々が集まれる場にします。盛岡から毎月一回は船くだりを行います。   |
| 10  | ・これまでの活動によって知り得た情報を伝えます。ロケーションに関する提案します。文化財保存の場所については市の方針に従い、復興PR活動を展開し、再生経緯を80年後の資料として、市に提供し、石巻市内を中心とする保存チームに有効に引き継ぎます。   |

■国・県・市に対してお願いしたいこと(主なもの)

| No. | 内容   |
|-----|--|
| 1   | ・随時情報を提供してほしい。行政と一般の連携をしっかりとしてほしい。もし、市営になったとしても、一般の人が来たいと思う公園。公園の計画・運営に市民が参加できる協働体制を検討してほしい。 |
| 2   | ・中瀬周辺の人の流れ、人々の意見も考慮した計画を。  |
| 3   | ・水面利用の関係機関の明示（川岸の不法係留とならないため）  |
| 4   | ・イベント広場がほしい。周遊する道がほしい。平面ではなく丘等がある島にしてほしい。  |
| 5   | ・早急に全体構想図をまとめていただきたい。  |



亀山市長の閉会時の挨拶



全体討議の記録の例



## 9. ワークショップの結果概要

### (1) 子どもワークショップ

- ・子どもワークショップでは、参加者がリラックスして楽しみながら公園づくりを考えられるよう、体を動かしたプログラムを取り入れながら進め、参加者ごとに公園のアイデアをまとめた。最後に、公園のアイデアをまとめた「宣言書」を市に提出した。
- ・発表は、公開で行われ、市報や新聞記事を通じて、広く市民に公園づくりの状況を周知することができた。

### (2) 一般ワークショップ

- ・一般ワークショップでは、市から、平成 32 年度を公園の完成目標としてじっくりと考えていくことや、南浜公園は今後、国・県が主体となって検討を行っていくこと等の情報提供があり、これを前提に意見交換が行われた。
- ・第 1 回では、公園づくりを主体的に発想するための「チーム」意識を形成し発想を共有するため、ワールドカフェ形式による議論を行った。第 2 回では、現状の計画等の情報共有を踏まえ、分科会形式により、参加者が決めた 6 つのテーマ「慰霊・鎮魂」、「防災」、「歴史・文化」、「自然」、「レジャー・スポーツ・遊び」、「10 年後 20 年後の公園の位置づけ」について議論を行った（p 15 を参照）。第 3 回では、参加者同士の活動情報を認識し合うことや、「金魚鉢形式」による公園づくりの議論を深めた。最後に、参加者が今後できる活動内容について宣言した。

#### 1) 南浜公園

- ・慰霊の場、防災・減災に資する施設について、多く議論された。そして、慰霊の場のあり方については、繊細な問題であるため、今後とも、継続した話し合いが必要であることが確認された。
- ・慰霊の場や防災・減災施設以外の施設、特にスポーツ施設や集客施設については、地元の想いと復興のあり方のバランスなどを踏まえて、今後とも議論が必要であることが認識された。
- ・国・県・市・市民の 4 者で、南浜公園の公園づくりを協力して進めていくことが、市と市民との間で確認された。
- ・ワークショップを通じて、議論を交わすことで、互いの活動内容を認識し、NPO や市民同士のネットワークの素地が形成された。
- ・次年度以降も話し合いの場の継続希望があり、市民の継続的な活動が期待される。

#### 2) 中瀬公園

- ・中瀬公園は、南浜公園と計画地の被害状況や公園化に向けた今後の検討体制が異なるため、整備計画のコンセプトが異なることが認識された。また、観光や活性化などをテーマにし、市民が公園をどのように使いこなし管理運営していくかが問題提起された。
- ・中瀬公園の利用安全性に関する対応、ハリストス正教会教会堂の復元先など、公園だけでは収まらない幅広い議論や今後の課題について、意見が出された。
- ・市民と市が、今後とも話し合いをつづけながら、中瀬地区の公園整備や利用・運営について検討していくことが確認された。
- ・また、参加者が既に行っている活動をベースに、中瀬公園の利用や、活性化に向けて、活動を行っていくことが宣言され、来年度以降、具体的な活動を実施できる素地があることが確認された。
- ・次年度以降も話し合いの場の継続希望があり、市民の継続的な活動が期待される。

## 10. 今後の進め方への課題

- ・来年度以降においても、子どもから大人まで、幅広い年齢層の市民とともに行う公園づくりが求められることから、ワークショップやアンケート等の継続により、市民の声を取り入れる仕組みづくりが必要である。
- ・参加者から、南浜公園、中瀬公園での活動の宣言がなされ、来年度以降、市民の活動が期待される。こうした活動に対する行政のバックアップや両公園の本格的な供用開始までの暫定的な運用方法の構築が課題となる。
- ・南浜公園では、次年度以降に行われる国や県が主体となった検討の場に、市民の声を伝えていくため、国・県・市が一体となった検討の場の設置が必要である。
- ・市では、両公園とも平成32年度の完成を目指してはいるが、参加者からできることから始めたいとの意向が多くあり、段階的な市民参加による公園整備などの市民活動に対する支援を検討する必要がある。
- ・今回のワークショップの結果報告と、現在策定中の基本計画のまとめ方について明確にする必要がある。

### 国営祈念公園に関する市民からの意見・要望

#### (1) 位置

南浜地区を国営祈念公園としてほしい。

#### (2) 機能

南浜公園については、「慰霊・鎮魂」、「防災・減災」、「自然」等の機能がほしい。

- ①慰霊・鎮魂…祈りの場、来訪者に何があったかを伝える場等
- ②防災・減災…多様な津波対策等
- ③自然…生命力を感じる自然（森・花等）。慰霊の場としても相応しい。
- ④その他（子どもの遊び場、スポーツの場）

#### (3) 進め方

今後の進め方については、公園づくりに市民が関わられる機会を多く作ってほしい。

○国・県・市だけでなく、市民も含めた協議会などにより、民間の参画のもと南浜地区の公園づくりを進めてほしい。

○市民が継続的に公園づくりに関わりたい。

#### ◆編集

本記録は、公園づくりワークショップ一般の部の参加者から選出された編集委員とともに石巻市が編集を行いました。

#### ◆問い合わせ先

石巻市震災復興部基盤整備課 TEL:0225-95-1111 (内線 5635、5636)  
担当:今野、大野、御木(おんき) (平日 8:30 ~17:00 受付)